

旅行的行事を振り返って

全ての学年の旅行的行事が終わりました。学年全員で一つの行事をやりきることで、学年の雰囲気、一人一人の顔つきが変わってきます。行事をきっかけに一人一人が成長していく姿を見ることはとても嬉しいものです。

1学年「校外学習」 5月31日(金) 恵庭るまっぷ自然公園

1学年は、5月31日(金)、恵庭るまっぷ自然公園ふれらんどにて校外学習を実施しました。当日はあいにくの雨模様で、学年レクの途中で米里中へと戻り、残りの学年レクを体育館で行いました。

学年レクは「借り物競争」「人間知恵の輪」を行いました。どの種目も大いに盛り上がり、普段の学校生活では見られない生徒の様子を感じることができました。また、体育係の運営も素晴らしかったです。

残念ながら散策等のプログラムを最後まで行うことはできませんでしたが、事前学習や事後学習にも子どもたちは積極的に取り組み、とても成長することができた行事でした。来年度の宿泊学習へとつながるような成果を得ることができました。(1組担任 木内)



2学年「宿泊学習」 5月22日(水)～5月23日(木) 富良野・旭川方面 1泊

「宿泊学習で見た生徒の輝き」

5月22日(水)から富良野、旭川方面で1泊2日の宿泊学習を実施しました。1日目は、三笠ジオパークでの学習と、富良野演劇工場のコミュニケーションプログラムを行いました。三笠ジオパークでは、博物館と市民センターに分かれ、見学とアンモナイト作成を時間で交代して行いました。博物館での見学は、ガイドさんのお話を聞いた後、自由見学となりましたが、盛りだくさんな展示があり、時間が足りないくらいでした。アンモナイト作成は、石膏を用いてアンモナイトを作るという活動でした。保護者の皆様に、後日届いた完成品を見せることはできたでしょうか？化石の成り立ちなども細かく教えていただき、生徒たちは興味深そうに話を聞いていました。続いて、富良野演劇工場にてコミュニケーションプログラムを受けました。シアターゲームという演劇のアイスブレイクに用いる活動を中心に、人とのコミュニケーションとは何かを学びました。「伝える」と「伝わる」の違い、失敗したときにへらへら笑ってごまかすのではなくなぜ失敗したかを考える、今後の人生に深く役立つであろう学びを、楽しみながら自然と受け取っていました。お礼の合唱も劇場一杯に広がる素敵な歌声となり、1つの大きな成長となったと感じました。大雪青少年交流の家を初めて利用しましたが、夕食や朝食を元気に食べる生徒が多く、安心しました。立派な体育館で行われた学年レク、五色綱引きにドラクエドッジボール、時間の関係で色々なことが変更になったものの、体育委員と中村先生が見事に仕切り、熱狂の時間を過ごすことができました。これまで生徒たちに伝えてきた「一生懸命には一生懸命」という姿勢ができてきたように思います。2日目は、旭山動物園で、行動展示の見学。天気にも恵まれ、最高の環境で見学を進めることができました。班での自主研修ということで、事前に計画したルートをみんなで楽しそうに歩いて回っていました。クイズに答えるという課題もあり、目的をもって行動する中でも、笑顔があふれる2日目となりました。

この宿泊学習を通して、2学年生徒全員の頑張りを感ずることができました。普段よりも多くの声掛けや、気遣いもあり、たくさんの生徒の輝きを目にしました。この成長を、一時的なものではなく、これからの生活に生かして欲しいと思います。そして、学年の大きな目標である「一緒懸命」を達成できるように、サポートをしていこうと思います。

(1組担任 西田)

5月22日(水)～23日(木)の1泊2日で宿泊学習に参加させて頂きました。事前学習から当日まで、各係生徒の動きや学年集会での聞かせてくれた響き渡る合唱など、どれをとっても素晴

らしいものがありました。宿泊学習当日は、全日程を通して、とても興味深いプログラム内容が用意されており、子ども達も楽しみながら一つ一つ真剣に、そして丁寧に取り組むことができていました。特に1日目の午後に実施された富良野演劇工場での「コミュニケーションプログラム」では、人と人を結び付けるために欠かすことのできないスキルに触れることができ、日常生活に生かすことのできる多くのことを学び、体感することができました。宿泊施設で盛り上がった学年レク、2日目の旭山動物園での班別研修など、かけがえのない大切な時間を過ごすことができました。最終日に学校までお迎えに来て頂いた保護者の皆様、本当にありがとうございました。
(7組担任 遠藤)



3学年「修学旅行」 6月5日(水)～6月7日(金) 東北2泊

「修学旅行を終えて」

6月5日(水)から2泊3日の修学旅行に行きまして。今年度は秋田県の男鹿半島まで足を延ばし、伝統民族行事である「なまはげ」の文化に触れ、北海道では味わうことのできない特有の自然や文化に親しむ旅程で行いました。1日目の男鹿では、家族や人の絆を大事にし、怠け心を戒め無病息災などを願う「男鹿のなまはげ」を体験しました。本物の民家のような造りの家で、なまはげに叱られたり 励まされたり誕生日も祝ってもらいました。縁起が良いとされる藁を頭に巻いたのも思い出です。太鼓ライブは大迫力で、カッという音とともに3人のなまはげがにらんでくると、本当に自分のところに走ってくるのではないかと恐怖を感じました。このライブでは学年が熱気の中で一生懸命に手を叩き一体感が生まれました。お礼集会で歌ったふるさと想いのこもった歌声で、ホテルの方々にも気持ちが届いたことと思います。2日目は天候にも恵まれ、みちのくの小京都角館の街並みを班別行動で見学しました。稲庭うどんや比内地鶏の親子丼やきりたんぽ、いぶりがっこなど北海道では味わうことのできない食文化を堪能しました。午後からは中尊寺を見学し、平和を願う奥州藤原氏の歴史に思いを馳せました。3日目は盛岡手作り村でお土産を購入し、東北の地に別れを告げました。事前準備では、各係で入念な準備を行いそれぞれがしっかりと責任を果たし、この修学旅行を成功に導く努力を重ねました。129名それぞれが金星のように明るく輝き、その個性を大切にしたいと願った学年スローガンは『明星』です。学級や学年の絆を深めることができた3日間でした。ご協力いただいた保護者の皆様に深く感謝いたします。(1組担任 板木)

6月5日(水)～7日(金)の2泊3日で修学旅行に参加させて頂きました。事前学習から当日まで、様々な場面で7組へのサポートを頂き、スムーズに旅行準備を進めることができました。その中でも、前日集会時に1組の代表者が7組の学級旗をもち、紹介してくれました。本当にありがとうございました。修学旅行全体を通して、長い移動時間でしたが、一つ一つの行程に対し、しおりから「今何をすべきか」を読み解き、行動できていた皆さん、とても立派でした。また、列車でのマナーを守り、節度ある行動ができていたこと、本当に素晴らしいものを感じました。1日目のなまはげ体験、太鼓ライブ、2日目の班別研修、中尊寺見学、そして旅行最後の夜に行われた学年レク、どれをとってもその土地でしか感じ味わうことのできない貴重な体験になったと思います。とても素敵な時間となりました。最終日に駅までお迎えに来て頂いた保護者の皆様、本当にありがとうございました。沢山のお土産を心の中に持ち帰ることのできた旅行になったと思います。(7組担任 遠藤)

